2025 年度

学校評価結果報告書

学校法人金剛学園

大阪金剛インターナショナル小学校

2025 年度 大阪金剛インターナショナル小学校　学校評価

１．目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の児童がいる中で、お互いの文化や背景を尊重しながら、国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できる学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる場を提供する学校づくりのために努力すると同時に、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目指している。

・豊かな国際感覚の育成
・温かい心、人間性の育成
・確かな学力の育成
・主体的に取り組む児童の育成
・教育環境の充実

２．中期的目標

１．豊かな国際感覚の育成

① 韓国語の語学力を向上させる。また韓国語能力試験対策を実施、より高い資格を習得できるようにする。國人グローバルメントリング・ペジョングローバルメントリング（韓国の大学生が行うプログラム）の実施。
オンライン科学教室（韓国の学校とオンラインで科学のプログラムを実施。）

② 英語の語学力を向上させる。放課後英会話を実施。英語検定力試検対策を実施し、より高い資格を習得できるようにする。

③ 国際的な行事や語学活動を通し豊かな国際感覚を醸成する。
（旧正月行事・韓国語弁論大会・英語スピーチコンテスト・ハロウィンなど）

２．温かい心、人間性の育成

① 礼儀正しく、規則を守り、基本的生活習慣を持つ子どもを育てる。

② 人権教育の推進を図り、相手の立場を理解できる思いやりのある豊かな人間性を育む。

③ 主体的に取り組む力を育てる。(「７つの習慣」の考えを取り入れたプログラム「リーダー・イン・ミー」の実践。

３．確かな学力の育成

① 基礎・基本となる学力の定着を図る。(算数分班授業、日本語・韓国語基礎補習授業の実施。)

② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得出来るように教材研究をする。

③ 授業力向上のため研究授業・教員研修会を実施し、教師の授業力向上を目指す。

４．教育環境の充実

① 教育環境の充実。(各教室にノートパソコン･電子黒板設置､4～6 年生用クロームブック完備､iPad75 台完備,e ラーニング導入)

② 安全教育の充実。(安全教育研修実施、防犯カメラ設置、AED 設置、防災セット完備、スクールバス運行、下校指導・避難訓練〈火災・地震・津波〉)

３．本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
Ⅰ 豊かな国際感覚の育成	① 語学力向上 –韓国語–	・習熟度別４班編成で授業を実施。 ・通常授業で TOPIK 対策授業をレベル別に４班編成で実施。放課後 TOPIK 対策授業をレベル別に３班編成で実施。 ・校内での韓国語使用率を増やし、韓国語で会話が出来る力を養う。	韓国語能力試験（TOPIK)、校内韓国語試験の結果、 校内での韓国語使用頻度、韓国語弁論大会のレベルなどを指標とする。	・韓国語の授業では本国班はもちろん、初級班、中級班もほとんど韓国語だけで授業を行うことで児童の韓国語の実力が伸びた。 ・今年度韓国語能力検定試験の会場となり試験を実施した。そのため、受検者も多く、合格率も上がった。 ・70 人中 51 名合格（73%） ６級８人、５級５人、４級４人 ３級４人、２級８人、１級 22 人。
	② 語学力向上 –英語–	・英語の授業を全学年週３時間確保する。高学年はそのうち１時間を英検の授業とする。 ・各学年で習熟度別の３班編成授業とする。 ・4～6 年生は英語検定試験を受験し、各学年にあった級の合格を目指す。 ・週３時間放課後英会話授業を全学年実施。低学年は習熟度別３班編成。高学年は習熟度別３班編成で実施。 ・1、２年生の音楽・体育・図工で英語イマージョン教育を実施。 ・１～4 年生で英語の読み聞かせを実施。	英検の結果、 授業での英語 使用頻度、習熟度を指標とする。 １～4 年生は英語イマージョン教育での理解力や学習活動も指標とする。 また、放課後英会話授業の活動も指標とする。	・各学年での３班編成授業を実施することで児童の実力がさらに向上した。 ・英語の授業以外でイマージョン授業や放課後英会話の授業で英語の使用頻度も上がり、英語の力がついた。特に聞く力が向上した。 課題としては、昨年度同様、話す力をつける必要がある。 ・英検の授業を習熟度別３班編成で実施し、英語検定試験に挑み、合格率は昨年度より高くなった。 ・71 人中 44 名（62%）が合格。（準２級５人・３級６人・４級 12 人・５級 21 人） ・児童が英語を積極的に使用する姿が見られた。

	③ 国際感覚育成	・旧暦正月行事を行う。 韓国の伝統的な正月を知る。 ・韓国語弁論大会の実施。 全校児童の前で韓国語の発表を行う。 ･韓国に触れる機会(行事)を作る。(國人グローバルメントリング･ペジョングローバルメントリング)	・韓国の伝統的な正月の理解、韓国語の発表のレベルを指標とする。 ・ハロウィンなどのアメリカの行事も学習に取りいれ、楽しく英語を学ぶ。 ・海外とのオンライン交流プログラムなど積極的に実施。	・韓国の名節「旧正月」の体験ができた。 ・國人グローバルメントリング・ペジョングローバルメントリングを実施し、韓国の大学生と交流することで、積極的に韓国語でコミュニケーションを取ることができた。 ･ハロウィンの行事ではネイティブ教師が仮装して、ハロウィンのフレーズ等を楽しみながら教え、児童が楽しく学んだ。 ･韓国の小学校とオンライン国際交流を実施。多くの児童が参加した。 ･韓国から教育実習で来校した学生とレクリエーションなどを通して交流することが出来た。
２　温かい心、人間性の育成	① 礼儀正しく、規則を守り基本的生活習慣を持つ子どもを育てる。	･すすんで正しい姿勢で元気よく挨拶ができるように教師が率先して最寄り駅､校門前で挨拶運動をする。 ・集団下校、下校指導実施。 ・登下校や公共でのマナー、学校でのルールや安全について指導する。	･教職員だけでなく、保護者や来客にも挨拶できるようになる。校内だけでなく駅員など校外でも挨拶ができるようになる。 ･公共マナーを守る。 ・授業開始時間には準備を終わらせ着席できる。 ・上記のことが主体的にできるようになる。	・主体的に挨拶ができる児童と、そうでない児童の差が大きい。 ･教師が集団下校を引率しているため、最寄り駅でのマナーは良い。 ･下校時急いで電車に乗る児童が見られるので､安全に乗車できるよう指導が必要である。 ・大半が授業準備、時間を守る習慣ができている。 ･全てにおいて児童が主体的に行えるよう継続して指導が必要。
	② 人権教育の推進を図る。	・小５・６年生はエゴグラムを行い、自分の性格特徴を知る。	・違いを認め、自他ともに大切にする心を持つ児童になる。	･「リーダー・イン・ミー」の授業で他者理解について学ぶことができた。 ･エゴグラムでは自分を知ることで相手を理解する心を持つきっかけとなった。

	③ 主体的に取り組む力を育む。	・「7 つの習慣」の考えを取り入れたプログラム「リーダー・イン・ミー」を実践し、学習面、生活面で主体的に取り組み、リーダーシップ・責任感・創造力・問題解決力・自発性・チームワーク能力を身に付け、児童が主体的に取り組む新しい金剛学園の文化を創造する。 ・リーダインミースピーチコンテストに参加。 ・リーダー・イン・ミーMVP（校内表彰）制度を確立。	・「リーダー・イン・ミー」の授業を実施し、児童が主体的に学級活動、児童会活動、クラブ活動に取り組むこと、児童が主体的に学習活動に取り組むことを指標とする。 ・教室、廊下等の掲示物。 ・7 つの習慣を学校生活に活かす。	・週に 1 時間道徳の授業を使い、「リーダー・イン・ミー」の授業を展開し、すべての子どもが自分自身のリーダーになり、責任をもってリーダー活動をすることができた。 2 年生児童 1 名がスピーチコンテストに参加し、リーダー活動について発表できた。 各クラス 20%の割合でリーダー・イン・ミーMVP を選出し、責任感を持たせることができた。
3．確かな学力の育成	① 基礎・基本となる学力の定着を図る。	・韓国語基礎補習授業、日本語基礎補習授業、日本語入門授業を実施する。	・少人数制授業を実施することで、つまずきをすぐに発見し、きめ細やかな指導を行う。 ・学力向上を目指す。また、転編入生の韓国語・日本語の習得も指標とする。	・転編入生には母語以外の言語（韓国語・日本語）基礎補習日本語入門授業を行い、正規授業の内容についていけるように補助ができた。特に日本語の時間数を多くとり、大きな成果が得られた。
	② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得できるように教材研究をする。	・各教科の研修に参加して指導力アップを図る。 ・理科、図工、音楽に専科教員を配置し、系統を立てた授業を展開する。 ・算数で TT 授業を実施する。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する。 ・電子黒板、タブレットを活用して、楽しく分かりやすい授業を行う。	・TT 授業できめ細かな指導を行う。 ・児童が見通しをもって粘り強く学習に向かい、考えを広げ、深め、思考・判断・表現をさせる場面を効果的に設計し指導する。 ・電子黒板やタブレット等を活用することで学習意欲を高める。 ・研究授業、研修会を定期的に実施する。	・TT 授業授業を行い、児童のつまずきに気付き、きめ細かい指導ががができた。各教科で積極的に教材（PPT 等）を作成し、児童の興味関心を引き出すことができた。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、学期に 1 度研究授業を行い、授業力向上のため研修も開催され、授業力向上につながった。 内部の研修だけではなく、外部研修にも積極的に参加したい。 ・電子黒板、タブレットの活用を積極的に行った。 ・

	③ 教師の授業力向上	・全教師が研究授業を実施・ ・全教師に研修費を支給。外部研修参加や教育図書を購入。	・外部研修参加や教育図書を購入。	・外部研修参加や教育図書を購入することで教師の授業力が向上した。
4 教育環境の充実	① 電子機器充実	・各教室にノートパソコン・電子黒板を設置し、児童が見やすく分かりやすく、楽しい授業を行う。 ・遠隔授業の準備として、4～6 年生を対象に学校でタブレット、ノートパソコンを使った遠隔授業を行う。	・パワーポイント等コンピューター等で成した教材を活用し、児童に興味、関心を持たせ、学習意欲を高める。 ・遠隔授業の推進、準備のため、環境整備と授業準備を実施する。	・韓国語・英語・韓国社会・道徳で効果が大きく、児童が興味、関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができた。 ・校内で遠隔授業、集会等を実施。 ・4～6 年生は学校内で遠隔授業を実施し、オンライン授業実施に向けて準備することができた。
	② 安全教育の充実	・スクールバス運行 下校（15:10 発・17:30 発）。 ・AED 設置 ・AED 研修実施 ・防犯カメラ設置 ・警備員の配置 ・下校指導 ・避難訓練実施 （火災・地震・津波対応） ・防災セット完備 ・新型コロナ感染症予防設備を備える。	・登下校時にスクールバスを運行する。 ・救急救命講習を全教職員が受講。 ・１日に３回、最寄りの駅まで教師が引率し集団下校を実施。 児童が電車に乗るまで見届ける。 ・１年に２回避難訓練及び、訓練前の講習を行う。 ・全校児童の防災セットを完備。	・警備員を配置し、防犯カメラも設置していることもあり、不審者の侵入等の事件は一度もなかった。 ・最寄りの駅までの集団下校を教師が引率することで事故やトラブルが一度もなかった。 ・急いで電車に乗ろうとするため、駅構内を走る児童がいる。乗車マナー向上に力を入れる必要がある。 ・津波対応の避難訓練では、小学校から高校まで、校内での避難訓練及び近隣の施設に避難する訓練を実施することができた。

2025年度　大阪金剛インターナショナル小学校　学校評価　児童アンケート

・対象　4～5 年生（2026 年 3 月 12 日時点）

・実施日：2026 年 3 月 12 日（木）

・対象児童：56 名（4 年：24 名　5 年：32 名）【回答率　98.2%】

A：よくあてはまる　　B：ややあてはまる　　C:ふつう　　D：あまりあてはまらない　　E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	①学校に行くのが楽しい。	40%	23.6%	21.8%	7.3%	7.3%
2	②友だちとなかよくしている。	50.9%	30.9%	14.5%	3.6%	0%
3	③授業は、わかりやすい。	33.3%	35.2%	29.6%	1.9%	0%
4	④家で学習や読書をしている。	23.6%	14.5%	32.7%	20%	9.1%
5	⑤先生は、自分のことを理解してくれている。	14.5%	43.6%	36.4%	1.8%	3.6%
6	⑥宿題や準備物などを忘れないようにしている。	40.7%	33.3%	18.5%	7.4%	0%
7	⑦進んであいさつをしている。	34.5%	41.8%	18.2%	5.5%	0%
8	⑧学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っている。	23.6%	41.8%	29.1%	5.5%	0%
9	⑨だれに対しても思いやりをもって接している。	29.1%	36.4%	27.3%	5.5%	0%
10	⑩毎日十分なすいみんをとっている。	36.4%	21.8%	23.6%	12.7%	3.6%
11	⑪毎日朝ごはんを食べている。	72.7%	10.9%	5.5%	5.5%	5.5%
12	⑫学校行事は楽しい。	61.8%	21.8%	12.7%	0%	3.6%
13	⑬係や当番の仕事、委員会活動などをがんばっている。	29.1%	40%	25.5%	3.6%	1.8%
14	⑭クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	32.7%	32.7%	21.8%	3.6%	9.1%
15	⑮安全に通学している。	61.8%	30.9%	5.5%	1.8%	0%
16	⑯地震や火災などが起こった場合、 どうしたらよいかを学んでいる。	50.9%	30.9%	14.5%	3.6%	0%
17	⑰学校からの案内文をおうちの人にわたしている。	49.1%	32.7%	10.9%	7.3%	0%
18	⑱教室・特別教室・運動場の施設などは、使いやすい。	41.8%	36.4%	18.2%	3.6%	0%
19	⑲道徳（リーダー･イン･ミー）の授業で「7 つの習慣」の考えが理解できている。	29.1%	29.1%	36.4%	3.6%	1.8%

2025年度　大阪金剛インターナショナル小学校　学校評価　保護者アンケート

・実施日：2026 年 3 月 12 日（木）～18 日（水）

・対象：小学校保護者（110 世帯中）【回答率　61.8%】

A：よくあてはまる　　B：ややあてはまる　　C:ふつう　　D：あまりあてはまらない　　E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	①学校の教育方針が明確である。	42.6%	35.3%	16.2%	2.9%	2.9%
2	②学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	55.1%	33.3%	10.1%	1.4%	0%
3	③学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通して伝えている。	56.5%	21.7%	18.8%	2.9%	0%
4	④学校は、全教職員で協力し合い教育活動に取り組んでいる。	54.4%	29.4%	7.4%	8.8%	0%
5	⑤学校は、行事や授業参観・懇談会などを通して、子どもの学校生活の様子が分かるような機会を設けている。	53.6%	27.5%	17.4%	1.4%	0%
6	⑥学校は、より良い施設・教育の環境整備に努めている。	47.1%	29.4%	22.1%	0%	1.5%
7	⑦学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	47.8%	30.4%	11.6%	8.7%	1.4%
8	⑧学校は、子どもの安全教育に努めている。	50.7%	28.4%	19.4%	0%	1.5%
9	⑨学校は、韓国文化を学ぶ機会を設けている。	73.9%	23.2%	2.9%	0%	0%
10	⑩学校は、語学教育に取り組んでいる。	42%	39.1%	14.5%	4.3%	0%
11	⑪学校は、子どもの学力向上に取り組んでいる。	30.9%	41.2%	20.6%	5.9%	1.5%
12	⑫学校は、健康・食事の大切さ、病気の予防について指導している。	23.5%	38.2%	30.9%	7.4%	0%
13	⑬学校は、いじめや不登校のないように取り組んでいる。	42.6%	29.4%	16.2%	5.9%	5.9%
14	⑭学校は、子どもたちの活躍する場を設けている。	53.6%	26.1%	18.8%	1.4%	0%
15	⑮学校は、守るべきルールやマナーを教えている。	43.5%	34.8%	14.5%	5.8%	1.4%
16	⑯学校は、クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	29%	33.3%	29%	4.3%	4.3%
17	⑰学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている。	60.9%	27.5%	11.6%	0%	0%
18	⑱お子さんは、基本的生活習慣が身についている。	39.1%	34.8%	21.7%	2.9%	1.4%
19	⑲お子さんは、楽しく学校に通っている。	66.7%	15.9%	13%	1.4%	2.9%
20	⑳お子さんは、安全に通学している。	62.3%	20.3%	15.9%	1.4%	0%
21	㉑お子さんは、きまりや約束ごとを守っている。	33.3%	43.5%	15.9%	4.3%	2.9%
22	㉒お子さんは、進んで宿題をする習慣がついている。	34.8%	37.7%	14.5%	7.2%	5.8%
23	㉓お子さんは、宿題以外に進んで学習や読書をする習慣がついている。	20.6%	26.5%	27.9%	14.7%	10.3%
24	㉔お子さんは、道徳（リーダー･イン･ミー）の授業で「７つの習慣」の考えを理解できている。	29%	40.6%	18.8%	10.1%	1.4%

2025年度　大阪金剛インターナショナル小学校　学校評価アンケート【教職員】

・実施日：3月12日（木）～16日（月）

・対象：小学校教師（19名中15名回答）【78.9%】

該当する記号の欄に〇を付けてください。

A:とても思う　B:思う　C:やや思う　D:やや思わない　E:思わない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D	E
学校運営	本校の独自性	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	33%	40%	20%	7%	0%
		学校の教育目標について	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	33%	53%	7%	7%	0%
	教育課程	学習指導要領および教育計画について	学習指導要領に沿った教育計画を立てている。	33%	33%	20%	13%	0%
	教職員連携	教員･教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	20%	47%	20%	13%	0%
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	20%	20%	47%	13%	0%
	財務関係	財務に関して	学校の予算、決算の収支について理解している。	27%	27%	27%	20%	0%
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	40%	40%	20%	0%	0%
	危機管理	危機管理対応状況と役割分担について	危機管理マニュアルによる災害・事故・事件についての役割分担、警察・消防との連携・訓練など学校の安全対策は十分とられている。	20%	27%	40%	7%	7%
	開かれた学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができている。	20%	20%	7%	33%	20%
教育内容	国際人教育	語学能力の育成	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	20%	60%	0%	20%	0%
		アイデンティティー教育	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	33%	40%	20%	7%	0%
		国際理解	他国の歴史･文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	20%	40%	27%	13%	0%
	情報教育	情報能力育成とモラル指導	児童の情報能力の育成と情報を扱うモラル面の教育に十分に取り組んでいる。	27%	13%	40%	20%	0%
	人権教育	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	13%	40%	27%	20%	0%
	環境教育	実践的泰地の育成	児童に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。	20%	27%	33%	20%	0%
	健康・食育	健康・食に関する指導について	健康教育、食育などにも配慮している。	20%	13%	33%	33%	0%
	児童会活動	児童会活動について	児童活動を通じて、児童が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	27%	20%	47%	7%	0%
	その他	読書推進	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	13%	20%	33%	27%	7%
		部活動	部活動は活発である。	27%	27%	40%	0%	7%
		学校行事	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	67%	33%	0%	0%	0%

2025年度　学校自己評価個票（No.2）

該当する記号の欄に〇を付けてください。

A:とても思う　B:思う　C:やや思う　D:やや思わない　E:思わない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D	E
児童指導・支援	生活指導	指導方針の一貫性	生活指導は学校の方針に従っている。	40%	53%	7%	0%	0%
		安全教育と規範意識の高揚	校内巡視や登校指導等定期的に実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	33%	20%	33%	13%	0%
		家庭との連携状況	生活指導において、家庭との連携ができている。	33%	33%	20%	7%	7%
	児童支援	学習指導について	学習習慣の定着を指導する体制があり、児童の実態に合わせた工夫・改善を行っている。	20%	33%	27%	20%	0%
		カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	20%	27%	40%	7%	7%
		進路指導について	児童一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような情報提供など支援体制がある	20%	27%	33%	20%	0%
教員研修・資質向上	教員研修	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価､意見交換などを行う機会がある。	27%	47%	7%	20%	0%
		初任者のサポート状況	初任者等､経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	20%	40%	20%	20%	0%
		校外研修	教員が計画的に校内・外の研修を受ける体制が整っている。	20%	27%	20%	27%	7%

2025年度大阪金剛インターナショナル小学校学校評価アンケート

＊小学校では4・5・年生を対象にアンケートを実施した。

【4・5年生分析】

【①】「学校に行くのが楽しい」にB以上が63.6％と昨年と同程度の水準であったがD・Eの評価が上昇している。

【②⑤】「友だちと仲良くしている」は80％以上、「先生は、自分のことを理解してくれている」55％と評価は高く、学校内での人間関係は概ね良好であると考えられる。

【⑫⑬⑭】「学校行事は楽しい」の評価が高く学習以外の体験活動が充実し、児童の活躍できる活動になっていると思われる。

【⑱】施設面での項目で、使用しやすいと回答した児童が75％を超えており、人工芝の運動場や体育館や教室等空調設備が整っていることで、学校生活を安全かつ快適に送ることができていると思われる。

【対　策】

【①②⑤⑫⑬⑭⑲】児童が1日の大半を過ごす学校が楽しくなるよう、また教師と児童の良好な関係が構築できるよう、毎月カウンセリング協議会を実施する。１年間で2回、学校適応アンケートを実施し担任との面談などに活用する。児童の様子、児童を取り巻く状況把握に努め、心情の変化を察知し、児童に寄り添った指導ができるようにし、全教職員で情報共有も確実に行う。評価が低い項目はどこに問題点があるのかしっかり把握する。

【③】児童が主体的に学習に取り組む授業を展開できるように、研究授業を実施する。授業作りに関して意見交換を行い、切磋琢磨して授業作りに取り組む文化を構築する。

【⑩⑪】毎朝、児童の健康観察を行い、気になる児童には面談をして家庭生活の様子を把握するように努める。

【⑲】「リーダー・イン・ミー」（道徳の時間）を活用し「７つの習慣」の考えを学び、授業や学級活動、児童会活動、クラブ活動等、児童が主体的に活躍できるようにする。その中で、【④⑥⑦⑧⑨⑬】の、よりよい人間関係を築いていく人間力、学校の規律、社会の規律を理解し、主体的にルールを守る態度を培う。

・リーダーシップの発揮…教職員が模範となり子供たちのリーダーシップを育む。

・文化の創造…児童が主体となって学校文化を築く。

・学力向上…主体的な学びによって学力を向上させる。

＊小学校では1～5年生の保護者を対象にアンケートを実施した。

【保護者分析】

【①】アンケートの結果はA,Bの評価は75％を超えており、全体的に高評価であると考えられる。

【②⑨⑩⑮⑲】児童が楽しく学校に通い、本校の特徴である語学教育や韓国文化習得など、本校独自の教育活動が昨年度同様、高く評価されていることが分かる。

【⑥⑪⑭】また、教育環境整備、学力向上学力に努め、子どもたちの活躍する場を設けているという項目で評価が高かったのは、学校のハードウェア・ソフトウェアとも高く評価されていると思われる。

【㉔】「7つの習慣」の習得については、評価は高くなっている。このことより、児童の考え方や行動の変容を家庭で感じることができていると考えられる。

【対　策】

【⑩】保護者の期待が高い語学教育については、児童の語学力向上が可視化できるよう検定試験の合格率を上げる。また、英語・韓国語の弁論大会など、本校の取り組みを発信し、本校の特化されたプログラムを醸成させる。

【⑫⑱】食育・健康教育については保健の授業を活用しながら、啓蒙活動を実施していく。

【⑦⑬】学校生活アンケートをもとに気になる児童については面談を行う。またカウンセリング協議会を実施し全職員で共有する。必要に応じて家庭連絡も行い、家庭の協力も得るようにする。

【㉒㉓】「宿題以外での学習、読書の習慣」の項目でDが14.2%、Eが10.3%と、昨年度よりも数値は下がっているが、宿題も含めて学習に対して主体性を持てるよう教員研修を実施し、評価をあげる。

【㉔】家庭に発信できていないことも多くあるので、学校の様子等も発信していき、家庭と連携して児童の人間力を高めていくことができるように努める。

「リーダー・イン・ミー」の授業内容の改善のための研修を実施。「7つの習慣」の考えを浸透させることで、授業、学校行事、クラブ活動等、児童が主体的に取り組み、達成感、成功体験を得ることができるようにし、次年度の評価が上がるようにしたい。⑮⑯㉑㉓も同じように規律を守る大切さや、児童が達成感、成功体験を得るような活動を多くする。

【教職員分析】

本校の教育目標を教員が理解し実践していると思われる。また、語学能力（英語・韓国語・日本語）の育成に評価が高く、教師自身も語学能力向上のため熱心に取り組んでいる。

「教職員連携」のD評価が13%と、教員間の連携を感じにくくなっている教員もいると考えられる。

【対　策】

教師の語学力向上のため、検定試験を受けるようにする。教材・受験費用の補助等の支援を行う。

「教職員連携」については、短時間でもこまめに部署別・担当学年別ミーティングの時間をとり、行事内容の共有や、業務の推進状況の確認などを行う。また、エンパワーメントを進め、各個人の力量アップを図る。

大阪金剛インターナショナル小学校

2025 年度学校評価 学校関係者評価委員会報告書

1. 実施日時：2026 年　4 月　17 日(金) 17 時～ 18 時

2. 場所：会議室

3. 出席者

No	氏名	役職
1	尹裕淑	大阪金剛インターナショナル小中高等学校校長
2	花田 昌美	大阪金剛インターナショナル中高等学校教頭
3	全鍾憲法	学校法人金剛学園事務長
4	谷口 和也	大阪金剛インターナショナル小学校教務主任
5	李勝日	金剛学園 PTA 会長
6	佐藤直子	金剛学園 PTA 副会長
7	高江洲麻美	金剛学園 PTA 副会長